

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：こころベイビー		種別：地域型保育事業	
代表者氏名：石川 直幸		定員（利用人数）：19名（利用者21名）	
所在地：〒221-0865 横浜市神奈川区片倉2-2-5			
TEL：045-620-0306			
ホームページ： https://kk-kokoro.com/			
【施設・事業所の概要】			
開設年月日：平成28年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社コイシカワ			
職員数	常勤職員： 6名		非常勤職員： 7名
専門職員	（専門職の名称） 名		
	保育士：9名		
	調理員：4名		
施設・設備の概要	（居室数）保育室： 保育室 1室・乳児室 1室 トイレ： 幼児用3個・大人用1個 調理室：1室 事務室：1室		
	（設備等）園庭： なし		

③理念・基本方針

教育理念

輝く生命（いのち）を明るい未来へ繋げる

これからの社会において、少子化が問題となっている今、1人ひとりの子どもがより生き生きと生活していける環境を整えていきたいと考えています。未来を作るのは子供たちです。その子どもたちの可能性を信じ、より良い未来がこれから先作れるよう、目の前の子どもたちの成長を見守り、保育をしていきます。

保育方針

ひとり一人のこどもを大切にし、保護者、地域とともに愛情に満ちた環境で、温かく家庭的な保育を行う

家庭的な環境の中で、子どもたちが自己充実感を感じ、のびのびと生活していける場を提供していきたいと思ひます。一人ひとりの思いを大切にし、地域とも連携しながら様々な目で子どもたちを見ていける環境でありたいと考えています。

④施設・事業所の特徴的な取組

小規模保育なので、家庭的で温かな園です。お散歩を活動のメインとして、さまざまな公園へあそびに行き、たくさん歩いて、たくさん食べて、そしてたくさん寝て、健康な身体を作れるようにしています。地域の公園はほとんど網羅し、お散歩ルートも子どもたちに合わせて、さまざまなコースを考えています。階段や坂道、歩道橋など歩きながら子どもたちが挑戦したり、交通ルールを守ったりして色々な経験が出来るようにして

います。また、危険箇所を職員で共有したり、話し合いながら安全なお散歩を心掛けています。公園では、友だちと一緒にあそぶ楽しさを感じたり、遊具にチャレンジしてみたり、一人ひとりが満足感を感じられる取り組みを行っている。0歳児も物とのつながりから人とのつながりまで安心して過ごせる環境を作っています。保育者との信頼関係はもちろん、ゆったりとしたリズムで安心感を感じられる場になるようにしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年10月19日（契約日） ～ 令和4年4月6日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（ - 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)子どもの主体性・自主性を尊重した保育を行っています

園では、保育方針に沿い、子どもたちの主体性・自主性を大切に育てています。日々の保育から子どもたちの興味・関心を意識して保育を展開しており、戸外活動のお散歩もその時の子どもの様子から行き先を決めています。例えば、ドングリに興味がある場合、ドングリが多く落ちている公園に行ったり、野菜に興味がある時には畑に行くなど子どもに合わせて日々の保育を行っています。子どもの主体性・自主性を大切にすることで、子どもは安心して自己発揮し、自信をもって活動に参加することにつながり、自己肯定感が育まれ、より良い育ちへとつながっています。子ども中心の保育を常に意識し、高い保育の質のもと、より良い保育を職員一同で実践し、提供しています。

2)職員間、保護者との共有・連携を大切にしています

園では、全職員が各種会議、適宜開催のミーティング、引継ぎ文書、園内研修などで情報を共有し、子どもの様子や保育環境について話し合い、個々の子どもの興味や発達を大切にした保育に努めています。また、活動に取り組む様子などを丁寧に記録に残し、職員がいつでも閲覧できるようファイリングしています。休憩中や保育の合間に、職員同士で子どもの様子を確認し合い、その後の保育計画につながっています。また、保護者と一緒に育て合うことも大切と考えています。職員が保護者と話しやすい雰囲気作りを意識し、日常の交流、懇談会や行事、運営委員会などで園が大切にしていることを伝え、子育ての楽しさを共感できるように努めています。

◇改善を求められる点

1)第三者委員の周知への取組

入園のしおりと園の掲示板に保護者相談窓口、苦情解決責任者として第三者委員が明示されています。今回の福祉サービス第三者評価に伴う調査では、「第三者委員などに相談できることをしていますか」との問いに「いいえ」と答えの方が多く認められました。保護者への周知を更に徹底するための取組を期待します。

2)保育の質向上に向けた研修の充実

法人内の計画的な研修計画があり、該当する職員が受講できるようになっています。しかし、コロナ禍の影響により外部研修が難しくなっていることや、保育の質の向上に必要なと思われる園内研修開催についても検討が必要と園長は考えています。研修後の発表による全員への周知などを含め、今後の取組が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、初めて第三者評価を受審しました。専門機関の調査員の方に保育園をみていただき、客観的に園の事を知るよい機会となりました。受審にあたって職員間で保育園のことについて改めて話し合うきっかけにもなり、自分たちの保育を振り返ることでそれぞれが新たな気付きや今後の課題を知ることができました。

改善点として特に「保育の質の向上に向けた研修の充実」に力を入れて取り組んでいきたいと思います。保育の質の向上の為、園内・外の研修を通して学んだことを全員で共有し、自分たちの園でどう活かしていけるのかを話し合い、実行していきたいと思います。

そして、利用者アンケートの結果では保護者の皆様に満足度の高い評価をいただき、本当にうれしく思います。今回の評価を励みにし、更により良い保育園になっていけるよう努力して参ります。温かく家庭的な保育がこころベイビーの保育の基本であり原点でもあります。子どもたちが心地よく日々を過ごすことが保護者の方の安心に繋がっていくと考えています。

受審するにあたって、ご協力いただいた保護者の皆様、ご尽力いただいた評価機関の皆様、ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり